


## 安全データシート

作成日 : 1997年10月22日, 改訂日 : 2016年12月28日

1 製品及び会社情報	
製品の名称	オートプロテクターN (艶消タイプ)
推奨用途及び使用上の制限	シーリング目地汚染防止
会社名	オート化学工業株式会社
住所	東京都台東区上野5-8-5
連絡先	03-5812-7310
緊急連絡先	生産本部 環境品質保証部 029-831-0913 (ファックス番号 029-831-0923)

2 危険有害性の要約			
重要な危険有害性及び影響	物理化学的危険性	極めて引火性の高いエアゾール	
	健康有害性	吸入すると有害	
	環境有害性	水生生物に毒性有り	
特有の危険有害性		溶剤の蒸気と空気が混合して爆発性混合物を形成しやすい。	
GHS 分類	物理化学的危険性	エアゾール	区分1
		健康有害性	急性毒性 (吸入)
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		区分2B
	発がん性		区分2
	生殖毒性		区分1
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		区分2, 3
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		区分2
	環境有害性	水生環境有害性 (急性)	区分2
		水生環境有害性 (長期間)	区分3
※上記で記載が無い危険有害性は、区分に該当しない。			
GHS ラベル 要素	絵表示		
	注意喚起語	危険	
	危険有害性情報	可燃性又は引火性の極めて高いエアゾール。 高压容器：熱すると破裂のおそれ。 吸入すると有害。 眼刺激。 発がんのおそれの疑い。 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。 臓器 (呼吸器系・中枢神経系・肝臓・腎臓) の障害のおそれ。	

	<p>呼吸器への刺激のおそれ。                  眠気またはめまいのおそれ。                  長期にわたる又は反復暴露による臓器（呼吸器・神経系）の障害のおそれ。                  水生生物に毒性。                  長期継続的影響によって水生生物に有害。</p>
注意書き	<p>全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。                  熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。                  保護手袋、保護眼鏡を着用すること。                  蒸気の吸入をしないこと。                  屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。                  火災の場合は適切な消火方法をとること。                  内容物/容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3 組成, 成分情報				
単一製品・混合物	混合物			
危険有害成分 (危険有害不純物)	酢酸エチル・キシレン・エチルベンゼン			
組 成	化学名又は 一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS 番号	官報公示整理 番号(化審法)
	ウレタン変成 アクリル樹脂	5~15	—	既 存
	酢酸エチル	20~30	141-78-6	2-726
	キシレン	1~10	1330-20-7	3-3
	エチルベンゼン	1~10	100-41-4	3-28
	エステル系溶剤	10~20	108-65-6	2-3144
	ジメチルエーテル	30~40	115-10-6	2-360

4 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること
目に入った場合	清浄な水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置	
消火剤	炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂

使ってはならない消火剤	棒状水
特有の危険有害性	樹脂の燃焼により、シアンガスの有害成分が発生する。
特有の消火方法	爆発性の霧が生じる為、漏洩部が塞がれる前に火災を消してはならない。可燃性のものを周囲から速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、ゴーグル、防護マスク）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収、中和：ウエス等で拭き取り、密閉容器に回収する。 二次災害の防止策：火気厳禁の処置をとる。

## 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<p>技術的対策：換気の良い場所で取扱う。                      周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。                      静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。                      電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。                      工具は火花防止型のものを用いる。</p> <p>安全取扱注意事項：人に向けて噴射しない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。</p> <p>接触回避：強酸化剤と混合接触してはならない。</p> <p>その他：高圧ガス取締法に準じた取扱いを行う。</p>
保管	<p>安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。                      子供の手の届かない所に保管する。                      通気の良い屋内貯蔵所に火気厳禁で保管する。</p> <p>混触禁止物質：強酸化剤と一緒に保管してはならない</p> <p>安全な容器包装材料：移し変えてはならない。</p>

## 8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度	<p>酢酸エチル：200ppm（日本産業衛生学会勧告値）                      （原料メーカーMSDS：2014/6/25による）</p> <p>キシレン：50ppm（日本産業衛生学会勧告値（2009））                      （原料メーカーMSDS：2012/12/25による）</p> <p>エチルベンゼン：50ppm（日本産業衛生学会勧告値（2009））                      （キシレンの原料メーカーMSDS：2012/12/25による）</p> <p>エステル系溶剤：未設定（原料メーカーMSDS：2007/12/27による）</p>
設備対策	<p>火気厳禁の措置をとる。</p> <p>排気の為の装置を設置する。</p>
保護具	<p>呼吸器の保護具：必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。</p> <p>手の保護具：必要に応じ手袋を着用する。</p> <p>目の保護具：必要に応じ保護眼鏡を着用する。</p> <p>皮膚及び身体の保護具：必要に応じ長袖を着用する。</p>

9 物理的及び化学的性質	
外 観	物理的状态：気体， 色：乳白色（ジメチルエーテルを除いた原液）
臭 い	芳香臭
融点・凝固点	酢酸エチル：-84℃
沸点, 初留点 及び沸騰範囲	酢酸エチル・エステル系溶剤：77.1~146℃
引火点	-2℃（ジメチルエーテルを除いた原液）
爆発範囲	酢酸エチル・キシレン：0.9~11.5vol%
蒸気圧	酢酸エチル：10kPa（20℃）
蒸気密度 （空気=1）	酢酸エチル：3.0 キシレン：3.7 エステル系溶剤：4.6
密 度	0.92/25℃（ジメチルエーテルを除いた原液）
溶解度	酢酸エチル：8.1wt% 水(20℃) キシレン：0.02g/100g 水(20℃) エステル系溶剤：18.5g/100g 水(20℃)
n-オクタンール/ 水分配係数	酢酸エチル：log pow=0.73 キシレン：log pow=3.12~3.20 エステル系溶剤：log pow=0.36
自然発火温度	エステル系溶剤：344℃

10 安定性及び反応性	
反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、高温、静電放電および衝撃又は混触危険物質との接触により、引火し火災の危険性をもたらす。
混触危険物質	酸化物・有機過酸化物
危険有害な分解生成物	シアンガス

11 有害性情報	
急性毒性	酢酸エチル：LD <sub>50</sub> （経口）ラット 4940mg/kg ：LC <sub>50</sub> （吸入）ラット 13mg/L キシレン：LD <sub>50</sub> （経口）ラット 3500mg/kg ：LC <sub>50</sub> （吸入）ラット 29mg/L エチルベンゼン：LD <sub>50</sub> （経口）ラット 3500mg/kg ：LC <sub>50</sub> （吸入）ラット 17mg/L ジメチルエーテル：LC <sub>50</sub> （吸入）ラット 164000ppm エステル系溶剤：LD <sub>50</sub> （経口）ラット 8532mg/kg
皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	酢酸エチル：ウサギを用いた皮膚刺激性試験で刺激性は見られなかった。

<p>皮膚腐食性及び皮膚刺激性</p>	<p>キシレン : ウサギを用いた皮膚刺激性試験で、「中等度の刺激性」の結果がある。                  エルハベンゼン : 24 時間皮膚適用で軽度の皮膚刺激を示した。</p>
<p>眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性</p>	<p>酢酸エチル : ウサギの眼に刺激が見られるが 7 日以内に回復。                  キシレン : ウサギを用いた眼刺激性試験で、「中等度(moderate) の刺激性」の結果がある。                  エルハベンゼン : 軽微から軽度の眼刺激性を示すと考えられる。</p>
<p>呼吸器感作性又は皮膚感作性</p>	<p>酢酸エチル : ヒトに適用した皮膚感作性試験で皮膚感作性は見られなかった。                  エルハベンゼン : 皮膚感作性を有しないと考えられる。</p>
<p>生殖細胞変異原性</p>	<p>酢酸エチル : ハムスターに経口又は腹腔内投与し骨髄細胞を観察した in vivo 小核試験で陰性だった。                  キシレン : ヒト経世代疫学で陰性、経世代変異原性試験なし、生殖細胞 in vivo 変異原性試験なし、体細胞 in vivo 変異原性試験（小核試験・染色体試験）で陰性であり、生殖細胞 in vivo 遺伝毒性試験なしである。                  エルハベンゼン : 小核試験で陰性。                  エステル系溶剤 : エムテスト、染色体異常試験で陰性。</p>
<p>発がん性</p>	<p>酢酸エチル : マウスに 8 週間腹腔内投与した試験で各群に肺腫瘍が見られたが、投与による増加では無かった。                  エルハベンゼン : 発ガンの恐れのない。IARC (2000) で 2B、ACGIH (2001) で A3 に分類。</p>
<p>生殖毒性</p>	<p>酢酸エチル : ラットに 90 日間吸入ばく露させた試験で、雌雄の生殖器、精子の数や運動性、形態等に影響は無かった。                  キシレン : マウスの発生毒性試験で親動物に一般毒性がみられない用量で、胎児に体重減少、水頭症がみられている。                  エルハベンゼン : マウス及びラットを用いた催奇形性試験において、母体毒性を示さない用量で胎児毒性（泌尿器系の奇形）がみられている。</p>
<p>特定標的臓器毒性（単回ばく露）</p>	<p>酢酸エチル : ネコやマウスでの吸入ばく露試験、又はウサギでの経口投与試験で一過性の麻酔作用が見られた。短期ばく露により、眼、気道を刺激する。中枢神経系に影響を与えることがある。                  キシレン : ヒトについては、「喉の刺激性、重度の肺うっ血、肺胞出血及び肺浮腫、肝臓の腫大を伴ううっ血及び小葉中心性の肝細胞の空胞化、点状出血と腫大及びニッスル小体の消失を伴う神経細胞の損傷、四肢のチアノーゼ、一過性の血清トランスアミナーゼ活性の上昇、血中尿素の増加、内在性クレアチニンの尿中クリアランス低下、肝臓障害及び重度の腎障害、記憶喪失、昏睡」、「肺のうっ血、浮腫、巣状肺胞出血」等の記述がある。                  エルハベンゼン : 実験動物に対する中枢神経系への影響、気道刺激性がみられる。</p>

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	酢酸エチル : ラットに 90 日間経口投与した試験で 3600mg/kg/日 で体重および臓器重量の増加抑制等が見られた。 キシレン : ヒトについては、「眼や鼻への刺激性、喉の渇き」、「慢 性頭痛、胸部痛、脳波の異常、呼吸困難、手のチアノー ゼ、発熱、白血球数減少、不快感、肺機能低下、労 働能力の低下、身体障害及び精神障害」等の記述。
吸引性呼吸器 有害性	キシレン : 液体を飲み込むと、誤嚥により化学性肺炎を起こす危 険がある。 エチルベンゼン : 飲み込むと誤嚥により化学性肺炎を起こす危険があ る。

## 12 環境影響情報

生態毒性	酢酸エチル : LC50(96hr) 魚類 (ファットヘッド ミノー) 230mg/L (SIDS, 2008) LC50(24hr) 甲殻類 (オミジノコ) 2,500mg/L (SIDS, 2008) キシレン : LC <sub>50</sub> (96hrs) ニジマス 3.3mg/L エチルベンゼン : LC <sub>50</sub> (96hrs) ブラウンシュリンプ 0.4mg/L エステル系溶剤 : LC <sub>50</sub> (96hrs) ヒメダカ 100mg/L 以上
残留性・分解性	酢酸エチル : 化審法に基づく 2 週間の生分解性試験で良分解性と 判断された。 キシレン : 急速分解性がない (BOC による分解度 : 38%) エチルベンゼン : 急速分解性がある エステル系溶剤 : 容易に生分解する。
生体蓄積性	酢酸エチル : 生体濃縮係数 (BCF) : 3.2 (計算値) キシレン : 生物蓄積性が低いと推定される エチルベンゼン : 生物蓄積性が低いと推定される エステル系溶剤 : 生物蓄積性が低いと推定される。
土壌中の移動性	酢酸エチル : 土壌吸着係数 : Koc=5.6 (計算値)
ワゴン層への有害性	モトリオール議定書に記載されている物質の使用はない。

## 13 廃棄上の注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</li> <li>・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。</li> <li>・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。</li> <li>・ 廃棄物の種類 : 内容物 (液体) : 燃えやすい廃油 (特別管理産業廃棄物) 金属容器 (噴射させて内容物を完全に取除いたもの) : 金属くず (安定型産業廃棄物) キャップ : 廃プラスチック類 (安定型産業廃棄物)</li> </ul>
--

## 14 輸送上の注意

国連番号	1950
品名 (国連輸送名)	エアゾール
国連分類	2-1 (高圧ガス・引火性)

容器等級	—
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

#### 15 適用法令

- ・ 消防法：危険物第4類第1石油類（非水溶性液体）、危険等級Ⅱ
- ・ 危険物船舶輸送及び貯蔵規則：高圧ガス・引火性のもの（クラス2.1）
- ・ 労安法：有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤（キシレン・酢酸エチル）  
特化則：第2類物質（フェルベンゼン）  
表示・通知義務対象物質：（酢酸エチル・キシレン・フェルベンゼン）
- ・ PRTR法：第一種指定化学物質（キシレン 4.8wt%，フェルベンゼン 4.8wt%）
- ・ 毒物及び劇物取締法：非該当
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従う。

#### 16 その他の情報

出典	原料メーカーの(M)SDS NITEのGHS分類結果データベース
その他	ホルムアルデヒドの発生、及び石綿の使用は無い。

#### 【注意】

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。